

第11章 環境配慮意識の向上に向けた取組の推進

第1節 概要

国では、6月5日からの1ヶ月間を「環境月間」と定めています。本市では、この期間にあわせて、「水辺に親しむ親子教室」などさまざまな行事を実施してきました。平成3年(1991)年に策定された川崎市環境基本条例では、基本的施策のひとつとして環境教育の推進を位置付け、また、平成6(1994)年に策定された川崎市環境基本計画では、環境教育推進の基本的施策として、①環境教育 基本方針の策定と推進、②環境教育推進体制の整備、③市民及び事業者の取り組みへの支援をあげています。また、平成7(1995)年に環境教育・学習事業推進のガイドラインとして策定された「川崎市環境教育・学習基本方針」(平成28(2016)年3月改正)では、3つの方向性の1つに「環境教育・学習を地域で実践【伝える】」と掲げており、家庭や職場、地域、学校等の様々な場で環境教育・学習を実施し、自ら環境配慮に取り組んでいく人材を育て、地域における行動を促すとしています。

これまでの規制を中心とした取組を中心に、市民・事業者・行政がそれぞれ取組を進めてきたことによって、大気や水などの環境は大幅に改善されてきました。一方で、市民意識調査等の結果からは、大気や水などの環境の改善が必ずしも諮問の環境に対する満足度の向上につながっておらず、市民実感が伴っているとは言えない状況が見られました。

そのため、令和4(2022)年3月に「川崎市大気・水環境計画」を策定し、市民が水辺にふれあうきっかけの創出や、大気や水などの環境の大切さを直接伝える取組を推進するとともに、情報発信の手法や内容を世代ごとに分かりやすく整理し、効果的な情報発信や環境教育を推進するなど、情報を適切に伝える取組を進めることとしました。



市民の空気や川、海のきれいさの満足度の経年推移

出典：「かわさき市民アンケート（平成19(2007)～令和4(2022)年度調査）」より作成

第2節 取組等

1 大気や水辺に親しむ取組や環境教育・環境学習の推進

本市では、市民が身近に感じられる河川を活用した取組により、水環境への関心を高め、環境配慮意識の向上を図ることを目指して、水辺にふれあうきっかけをつくるとともに水環境に係る情報を知ってもらえる様々な取組を実施しています。また、大気環境についても、大気のきれいさを目視で感覚的に理解できる方法として「視程調査」や「星空ウォッチング」などの取組を実施しています。

また、市内の小学生を対象に、大気や水環境を守る業務の概要や環境の現状、大気・水環境の大切さ、みんなにできること等について直接伝える環境教育として、出前授業やイベント等を実施するとともに、市民等に環境配慮の考え方・行動が定着することをめざし、環境学習の教材プログラム、人材育成を充実するとともに、市民や学校等における環境学習を支援しています。

(1) 水辺に親しむ親子教室（昭和62(1987)年度～平成14(2002)年度）

「環境月間」中に小学校4年生から6年生1校1学年を対象に、水辺で親子の触れ合いを通して水環境の大切さを実感してもらうための体験学習を実施してきました。

(2) 夏休み多摩川教室（平成3(1991)年度～）

小・中・高校生等を対象に、普段見慣れた多摩川と様々な形で触れ合うことで多摩川の水質や自然環境等へ持続的に興味を持ってもらうことを目的として、平成3(1991)年度から開催しています。国土交通省京浜河川事務所と流域自治体の共催によって開催しており、本市は「川の中の生きもの」コーナーを担当し、底生生物の採取及び観察、パンフレットの配布及び缶バッジの作成などを実施しています。

(3) 水生昆虫ふれあい教室（ヤゴレスキュー）

（平成11(1999)年度～平成23(2011)年度）

「環境月間」の行事として、小学生及びその保護者を対象に、プールに生息するヤゴの救出、観察・飼育をとおして、水環境の啓発を図る目的で、平成11(1999)年度から平間児童公園プールで実施していました。子供たちはプールに入り、ギンヤンマ、シオカラトンボやアカネのヤゴを救出した後、飼育方法を教わる内容となっています。



水生昆虫ふれあい教室

(4) 水環境体験ツアー（平成25(2013)年度～平成28(2016)年度）

18才以上の市民を対象に、水環境について親しみ、学んでもらうことを目的として平成25(2013)年度から「水環境体験ツアー」を開催していました。雨水が地下に浸透して湧水となって地表に現れ、川となって海に注ぐまでの水循環の流れに関連する施設等の見学等を行いました。

(5) 夏休み水環境体験教室（平成29(2017)年度～）

市内在住の小学生を対象に、水環境に親しみ、学んでもらうことを目的として、平成29(2017)年度から「夏休み水環境体験教室」を開催しています。本教室は、水環境の歴史や水質の調べ方を説明した後、実際に川や湧水地へ行き、水質や水辺にすむ生きものを調べる内容となっています。



夏休み水環境体験教室

(6) 星空ウォッチング in キングスカイフロント（平成26(2014)年度～）

星の見え方は大気の状態と深い関係があるといわれていることから、星空観察を通して大気を身近に感じてもらうことを目的として、平成26(2014)年度から、星空観察会「星空ウォッチング」を開催しています。令和4年度からは、川崎キングスカイフロント東急REI ホテルを会場として実施しています。



星空ウォッチング
in キングスカイフロント

(7) 視程調査（令和3(2021)年度～）

大気を身近に感じる機会を創出するため、遠くの建物などの見え具合から、大気のきれいさを判定する調査である視程調査を用いた環境学習等を令和3(2021)年度から実施しています。



視程調査を用いた環境学習

(8) 市内の小中学校への出前教室の実施

本市が市民・事業者・行政の連携により環境改善を図ってきた歴史や、現在の本市の環境をとりまく状況への理解を促し、地域への愛着を育てることにより、環境シビックプライド（市民の環境面の誇り）を醸成し、自ら進んで環境配慮行動をおこせる人材を育成することを目指して、大気・水環境分野の出前授業を実施しています。出前授業では、小中学校からの要請に応じて、公害対策の歴史や、大気に親しむための手法である視程調査の紹介を交えた授業などを実施しています。



市内の小学校への出前教室

環境啓発絵本を活用した環境学習

川崎市大気・水環境計画のメッセージを市民の方々にわかりやすく伝えることを目的に令和 4(2022)年度に作成した環境啓発絵本「カワサキプラネット〜つくろう！空と水のミライ〜」

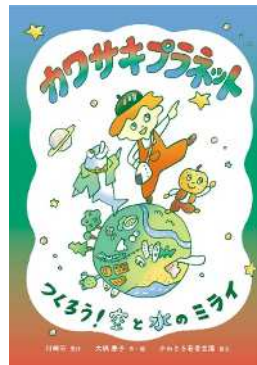
（フルカラー、B5サイズ、全28ページ）を市内の小中学校等に配布し、総合学習の総合的な学習の時間（SDGs）や社会科（公害）の授業の入門として活用されるよう周知を図っています。

絵本の作成にあたっては、川崎市に縁のある25歳以下の若者が自ら立ち上げ、地域に関する情報交換やプロジェクトを実施するプラットフォームである「かわさき若者会議」と連携し、ワークショップなどを重ね、設定やストーリーを考案しました。

絵本は、舞台となる川崎市を惑星に見立てたファンタジーのようなストーリーとなっており、クイズやすごろく・迷路などを盛り込み、ゲームブックとしても楽しめ、子どもから大人まで幅広い年代の方々に読んでいただける内容となっています。



絵本作成ワークショップ



環境啓発絵本

(9) 環境セミナー

環境総合研究所がこれまで培ってきた科学的知見や最新の調査研究成果を分かりやすく市民・事業者等へ伝えるため、毎年度「環境セミナー」を実施しています。本セミナーは、平成 14(2002)年度に地域での自主的な活動の核となる人材育成を図ることを目的とした「水環境セミナー」として発足したものであり、平成 19(2007)年度からは、水環境以外に大気環境、地球温暖化等の環境分野も対象に実施しています。

2 効果的な情報発信の推進

大気や水などの環境の分野は、一般的になじみのない用語が使われることも少なくないため、分かりやすさを意識するとともに、情報の受け取り手を考慮して、リーフレット、ホームページ、SNS など、様々な媒体を活用した情報発信を行うとともに、身近な地域環境への関心を高めてもらえるよう、地域ごとの取組や環境データの紹介及び公害の歴史や優れた環境の取組などの展示等による情報発信を推進しています。

また、次世代自動車や自転車の活用などを通じた、地球にやさしい交通環境に関する普及啓発など、市民の環境配慮行動の促進につながる情報発信等に係る取組も推進しています。

(1) インターネットホームページ

大気、水質、土壤汚染、騒音・振動、地盤沈下等の分野ごとの各種取組や関連情報について、ホームページに掲載し必要に応じて随時更新しています。

ア 川崎市：地域環境対策

川崎 環境対策

検索

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-0-0-0-0-0-0-0.html>

<主なコンテンツ>

「川崎市の大気」、「水環境情報」、「騒音・振動」、「化学物質関連情報」、「地盤情報」、「川崎市の土壤汚染対策」、「交通環境対策関連情報」、「アスベスト」、「川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例」、

イ 川崎市：環境総合研究所

川崎 環境総合研究所

検索

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-10-0-0-0-0-0-0-0.html>

<主なコンテンツ>

「環境総合研究所の概要」、「調査・研究」、「大気等の常時監視」、「環境総合研究所アーカイブスペース」、「環境学習・イベント・セミナー」、「資料」

ウ 川崎市：環境技術情報ポータルサイト

川崎市 環境技術情報

検索

<https://eri-kawasaki.jp/>

<主なコンテンツ>

「川崎市の環境技術」、「環境技術マップ」、「産学公民共同研究」、「刊行物・資料」、「イベント」

エ 川崎環境ポータルサイト

川崎環境ポータルサイト

検索

<https://www.portal-env.city.kawasaki.jp/kankyou-jouhou/>

<主なコンテンツ>

「イベント・お知らせ」、「施設情報」、「資料室」、「環境動画アーカイブ」、「関連リンク紹介」、「月刊環境情報」

オ 次世代自動車の普及

川崎市 次世代自動車

検索

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-8-4-0-0-0-0-0.html>

<主なコンテンツ>

「EV 充電インフラ普及のためのデジタル資料室」、「川崎市 EV 用充電インフラ補助金(共同住宅向け)」、「低公害車の普及」、「川崎市内の水素ステーションについて」等

(2) SNS

本市の環境関連のイベント情報や取組を随時発信しています。

川崎市環境総合研究所 公式X (旧 Twitter) @kawasaki_keril

(3) 大気環境情報

大気環境の状況をリアルタイムで提供することを目的に、大気環境の測定データ（1時間値の速報値）を提供しています。

昭和46年には、川崎区の二酸化硫黄濃度等の測定データを通行者に提供することを目的に、市役所本庁舎前に「大気汚染状況電光表示盤」を設置しました（平成元年に更新）。

公害監視センターの環境総合研究所への移設に伴い、平成25年に「大気汚染状況電光表示盤」を廃止し、市役所第3庁舎1階に設置したモニターにおいて、市内全ての一般環境大気測定局及び自動車排出ガス測定局における全測定項目の測定データの提供を開始するとともに、テレビ神奈川のデータ放送でも測定データを提供しました。

現在は、市役所本庁舎に設置されているデジタルサイネージにおいて、大気環境の測定データ等を提供しています。

(4) 冊子・リーフレット等

大気や水などの地域環境対策に関する情報を市民や事業者の皆様に発信するため、本市では冊子やパンフレットを作成し、配布・公開しています。内容は公害全般、条例届出関係、大気環境、水環境、悪臭、アスベスト（石綿）、騒音・振動、自動車交通環境対策、土壌汚染、化学物質、放射線、環境影響評価（環境アセス）、環境総合研究所関係の分野に分かれています。

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-9-8-0-0-0-0-0-0-0.html>

川崎市 地域環境 冊子

検索

(5) 公害の歴史の学習施設やコンテンツ

本市が公害の克服に向けて進めてきた取組の歴史や現在の取組について、次の施設やホームページで公開しています。

ア 川崎市環境総合研究所 アーカイブスペース

「川崎市環境総合研究所アーカイブスペース～川崎から世界へ～未来へはばたく環境技術」では、本市が公害の克服に向けて進めてきた取組の歴史のほか、優れた環境技術や取組などを映像や展示物により紹介しています。

【場所】川崎市川崎区殿町3丁目25番13号 川崎生命科学・環境研究センター（LiSE）1階

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-10-9-0-0-0-0-0-0-0.html>

川崎市 環境 アーカイブ

検索

イ 川崎市 かわさきエコ暮らし未来館

「かわさきエコ暮らし未来館」は、地球温暖化、再生可能エネルギー、資源循環の3つのテーマを中心に、環境を守るためにはどうしたらよいのかを具体的に体験しながら楽しく学んでいただけの施設です。2階展示スペースにある「川崎の暮らし環境100年のアルバム」では、本市の100年の環境の歴史と川崎の環境について紹介しています。

【場所】川崎市川崎区浮島町509番-1 浮島処理センター内

<https://eco-miraikan.jp/index.html>

川崎市 エコ暮らし未来館

検索

ウ 川崎市：川崎市の公害の歴史を学ぶ

公害に関する情報収集と整理を行い、公害の歴史を伝えるとともに、環境の大切さについても広く情報発信することを目的として公開しているインターネットホームページです。

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000101969.html>

川崎市 公害の歴史

検索

エ 川崎市の公害の現状や対策に関する主な刊行物

「川崎市の大気・水環境」

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000164589.html>

「川崎市の大気」

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-10-1-4-0-0-0-0-0.html>

「水質年報」

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-5-7-0-0-0-0-0-0.html>

「川崎市環境総合研究所年報」

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-3-8-17-2-0-0-0-0-0.html>

「環境局事業概要（公害編）」

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-9-6-0-0-0-0-0-0-0.html>

「かわさき環境白書」

<https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/54-5-6-1-0-0-0-0-0-0.html>

川崎市の公害の現状と対策について

昭和43(1968)年から「川崎市の公害」として刊行してきましたが、昭和59(1984)年度には内容を充実し、名称を「川崎市公害白書」としてきました。さらに、平成9(1997)年度の機構改革により環境局となったことを機に、「環境局事業概要（公害編）」として発行してきました。これらの冊子は、川崎市役所本庁舎の情報プラザや公文書館、市立図書館で閲覧することができます。

冊子「川崎市の公害」：昭和43(1968)年～昭和58(1983)年度

冊子「川崎市公害白書」：昭和59(1984)年度～平成8(1996)年度

冊子「環境局事業概要（公害編）」：平成9(1997)年度～令和4(2022)年度

川崎市刊行物目録（情報プラザ） <https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000064222.html>

川崎市立図書館ホームページ <https://www.library.city.kawasaki.jp/index?3>